

令和5年度中学生チャレンジテスト(3年生)の結果概要

大阪府教育庁

○内容

・中学校第3学年：国語、社会、数学、理科（選択問題A・B・C）、英語
生徒アンケート

○対象

・府内の市町村立中学校、義務教育学校後期課程
及び府立中学校並びに支援学校中学部の第3学年

○実施校数(9月5日実施分)

・468校

○実施生徒数(9月5日実施分)

・58,451人

中学校3年[国語]

平均点

62.1点

無解答率

10.3%

良好

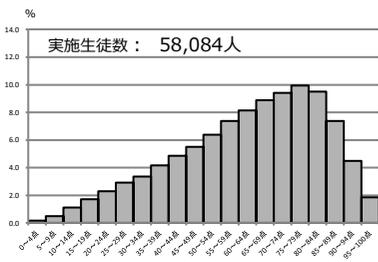
- 文と文の意味のつながりを考え、適切な接続表現を使うこと。
- 文脈に即して、言葉の意味を捉えること。

課題

- 行書や手紙の後付けの書き方について理解すること。
- 自分の主張の根拠となることをグラフなどの資料から読み取り、聞き手に伝わるように表現すること。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★楷書と行書の違いについて、考えてみましょう。また、手紙の形式について確認し、お礼の手紙を書いてみましょう。
- ★グラフなどの資料を読み取るときは、数値やデータからわかる特徴や傾向について、伝える相手を意識しながら表現してみましょう。



中学校3年[理科A]

平均点

44.8点

無解答率

9.0%

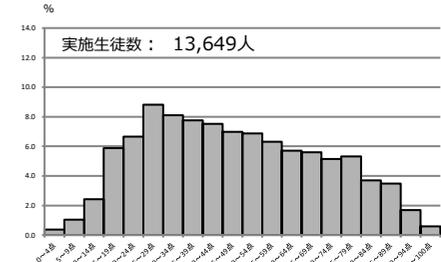
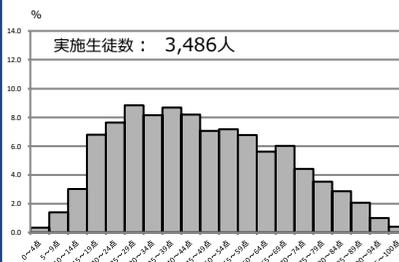
中学校3年[理科B]

平均点

47.6点

無解答率

8.7%



中学校3年[理科C]

平均点

47.6点

無解答率

9.0%

良好

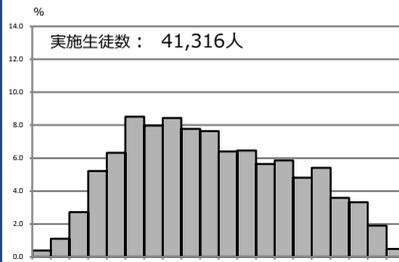
- 赤血球のはたらきに関する基礎的・基本的なことから理解すること。
- メスシリンダーを使って体積を測定すること。

課題

- 科学的な言葉を、科学的な知識や基本的な概念と結びつけて理解すること。
- 光は直進することを理解し、光の進む道すじについて考えること。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★理科の学習で得た知識や技能を、身の回りのものや現象と関連付けるなどすることで、知識や技能の理解を深めましょう。
- ★科学的な事象について、根拠に基づいて、データを処理したり、どのような規則性があるかを考えたりしてみましょう。



中学校3年[社会]

平均点

54.7点

無解答率

3.1%

良好

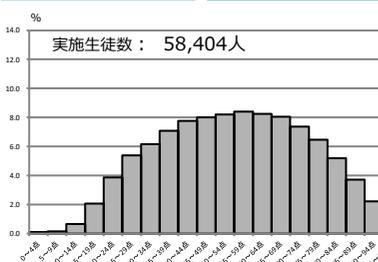
- 地形図から読み取れる地形を断面図に表したものを理解すること。
- ヨーロッパで使用されている共通通貨や、茶の生産量が多い県など、地理に関わる基礎的・基本的なことから理解すること。

課題

- アメリカ合衆国の適地適作による農業について理解すること。
- 平安時代に起こったできごとや、大日本国憲法が公布されるまでのできごとなど、歴史に関わる事象の推移を考察すること。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★地理に関わる事象について考えるときは、地図や気候などと関連付けるようにしましょう。
- ★歴史に関わる事象について、できごとのみ注目するのではなく、年表などの資料を活用する等、推移に着目して考えましょう。



中学校3年[数学]

平均点

52.2点

無解答率

11.2%

良好

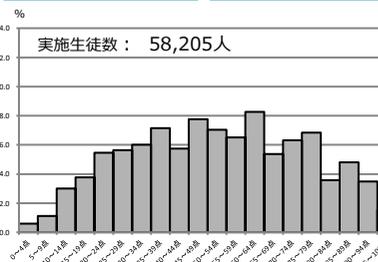
- 正の数と負の数の計算をすること。
- 空間における2つの直線の位置関係を理解すること。

課題

- 文章を読み、着目した数量の関係から連立二元一次方程式をつくること。
- 水量と時間を表したグラフから、必要な情報を適切に読み取ること。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★着目した数量を表や線分図などに表し、その関係について考えてみましょう。
- ★数量の関係を表したグラフを読み取るときは、縦軸や横軸が何を表しているのかを確認し、グラフが大きく変化した箇所に着目しましょう。



中学校3年[英語]

平均点

54.2点

無解答率

6.5%

良好

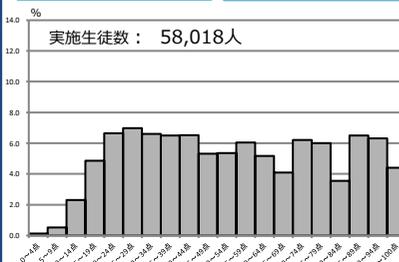
- 短いやり取りを聞いて、話し手の意向を捉えること。
- 会話文を読み、代名詞が示す意味を捉えること。

課題

- 学校生活についてのまとまった説明を英語で聞き、要点を理解し、適切な語句を使って英文に表すこと。
- 与えられた情報に基づき、英文でスピーチ原稿を完成させるために適切な語句と文法を用いて正しく文を書くこと。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★英語を聞いたり読んだりするときは、大まかな内容を捉えるとともに、話し手や書き手の伝えたいことの要点は何かを考えてみましょう。
- ★スピーチで自分の考えたことや感じたこと、その理由などを相手に伝えるために、様々な英語の表現があります。それらを正しく使うようにしましょう。



これまでの全国学力・学習状況調査、小学生すくすくウォッチ、中学生チャレンジテストのアンケート結果から、みなさんの学力を高めるためには、学習する際の心がけ、周りの友だちとの協力、社会的な出来事への関心、スマートフォンの使い方なども関係していることがわかりました。勉強することはもちろん大切ですが、普段の生活の中でこれらのことも意識してみましょう。

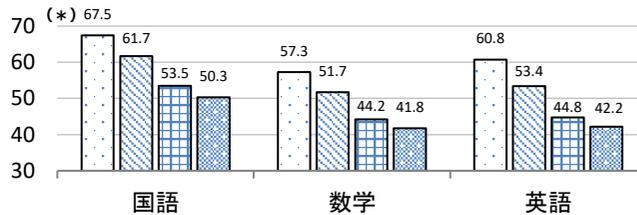
●クロス分析とは、生徒アンケートと教科平均点の2つの項目の結果を掛け合わせて比較し、どのような関連があるかを分析する方法です。
 (*)例えば、アンケート項目1.で「当てはまる」と回答した生徒の国語の平均点が67.5点であることを示しています。

学習する際のポイントについて

1. 文章や資料などを読むときに、どこが大事などところかを考えながら読んでいる。



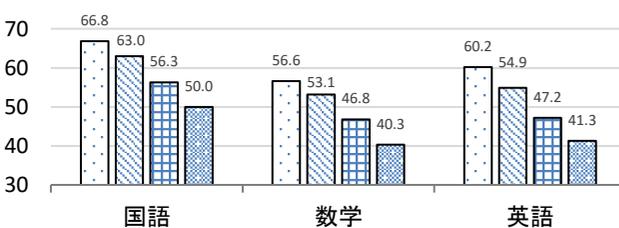
□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる
 □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない 【クロス分析】



2. わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる
 □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない 【クロス分析】



学習する際、多くの生徒が文章や資料の大事なところを考えながら読んだり、わからないことを図書館資料やインターネットで調べていることがわかりました。クロス分析からも肯定的な回答をした生徒ほど平均点が高い傾向にあることがわかります。

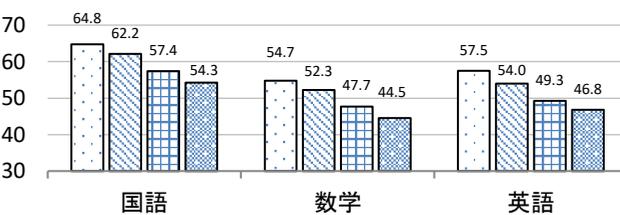
文章や資料を読むときは、例えば大事なところに印をつけるなどして読むことが有効です。また、わからないことがあった時は、インターネットだけでなく、正しい情報が載っている図書館資料も合わせて効果的に活用して調べようすると、より理解が深まります。

学級や学校の様子について

6. あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。



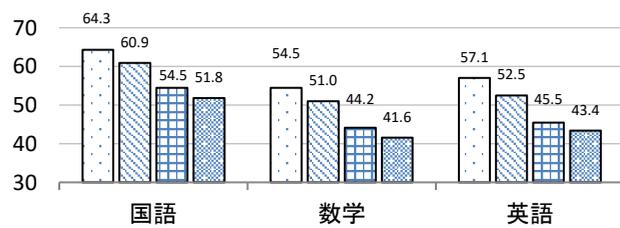
□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる
 □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない 【クロス分析】



7. 学校などで、他の人と協力し合うことができる。



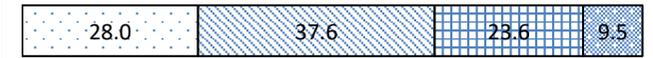
□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる
 □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない 【クロス分析】



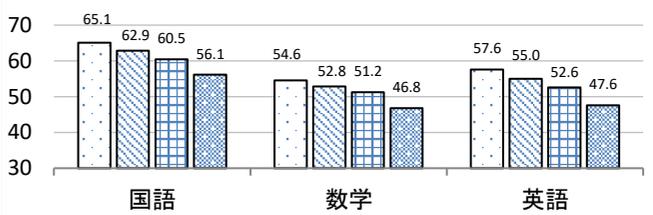
学級や学校で、多くの生徒が友だちの違った考えや意見を受け入れたり、協力し合うことを大切にしていることがわかりました。クロス分析からも肯定的な回答をした生徒ほど平均点が高い傾向にあることがわかります。学校生活の中で、友だちと積極的に話し合ったり、協力し合ったりすることは、生徒のみなさんの学力を支えるものと考えられます。例えば、自分と違う意見を受け入れ、疑問に思った点を質問する等、自分と友だちの意見の共通点や違いを考えることで、自分の考えをさらに深めたり広げたりしましょう。

家庭での過ごし方について

9. テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。



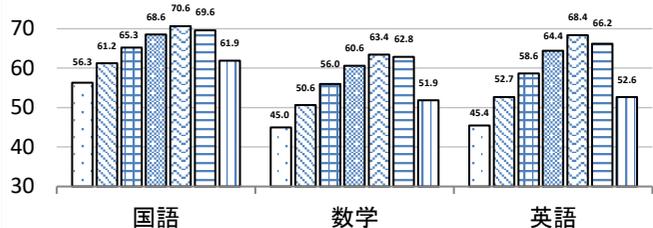
□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる
 □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない 【クロス分析】



11. 普段（月曜日から日曜日）、1日平均どれくらいの時間、学習以外（ゲームやSNSなど）にスマートフォンやタブレットを使っていますか。



□1. 4時間以上 □2. 3時間以上、4時間より少ない
 □3. 2時間以上、3時間より少ない □4. 1時間以上、2時間より少ない
 □5. 30分以上、1時間より少ない □6. 30分より少ない
 □7. スマートフォンやタブレットを持っていない 【クロス分析】



家庭での過ごし方として、テレビや新聞などでニュースを見ている生徒や、スマートフォンなどを1日4時間以上使っている生徒が一定数いることがわかりました。クロス分析からもニュースを見ている生徒は平均点が高い傾向にあることがわかります。

ニュースを見ると、社会の動きがわかるだけでなく、興味・関心を広げたり、語彙力を身につけたりすることにも繋がります。また、スマートフォン等については、家庭で1日の使用時間や使い方を決め、適切に管理できるようにルールを見直ししてみましょう。これらの事を意識し、めりほりのある家庭での過ごし方を心がけましょう。

